

2 目標達成計画

作成日：平成22年4月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について学習に参加したした職員は半数くらいいるが、それについて職場で深く討論したことはなく全体の職員で統一された見解はない。	学習してきた職員を中心にそれを全体の物にするような取り組みする。更にそれを深め色々な場面に遭遇した場合に安全のために安易に利用者の意にそぐわない行動をとらないような一致した見解を見つけたい。	5月のミーティング時にはビデオやローリングプレイを使って全員で考えていく。年に数回議論の場を設けたい。	11 か月
2	10	運営に関し、利用者、家族等の意見が十分に反映されていない。表面上あまり関心がないように見受けられる。	職員と利用者・家族が一緒になって「ホームを作り上げていく。」という立場に立てるようになる。	積極的に運営に係わってもらえるように職員の方から働きかけを行い、年2回の家族会およびケアカンファレンスを行う。そしてホームへきて頂いた時には時間の許す限りご意見を伺う。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。